

令和7年度 芝山中学校学校評価集計結果

全校

回答人数 生徒143人(93.0%)、保護者125人(87.4%)、教職員19人(100%)

赤字の肯定率は、肯定率80%を下回ったもの 4: と思う、3: だいたいと思う、2: あまりそう思わない、1: 全く思わない

番	評価項目	対象	4	3	2	1	肯定	否定	R6肯	R5肯	考 察
1	学校は、教育目標や方針を踏まえた教育実践をしている。	生徒	66%	29%	4%	1%	95%	5%	95%	97%	教育目標や方針等と日々の教育活動の「つながり」を、生徒・保護者にも実感してもらう工夫が必要である。取組を焦点化するとともに可視化することで、成果や課題を定期的に共有することに努めていく。
		保護者	32%	50%	13%	5%	82%	18%	84%	90%	
		教職員	63%	37%	0%	0%	100%	0%	100%	100%	
2	学校は、家庭や地域と連携協力した活動を行っている。	生徒	57%	33%	11%	0%	89%	11%	89%	92%	家庭や地域との連携は一定程度進んでいるものの、今以上に、連携の目的を明確にし、活動を可視化する。また、家庭・地域が参加しやすい仕組みづくりを進めることで、協働の質と量を高めていくよう努めていく。
		保護者	29%	55%	14%	3%	83%	17%	82%	82%	
		教職員	63%	37%	0%	0%	100%	0%	100%	100%	
3	学校は、生徒に命の大切さや規範意識を身に付けさせている。	生徒	75%	23%	2%	0%	98%	2%	95%	97%	全教育活動を通じて、命の大切さや規範意識を身に付ける等の心の醸成に努め、取組の体系化や実践の可視化を図り、保護者、地域から生徒の成長した姿を見ていただけるよう努める。
		保護者	29%	60%	9%	2%	89%	11%	83%	85%	
		教職員	89%	11%	0%	0%	100%	0%	100%	94%	
4	学校行事では、子供が有意義で充実した学びをしている。	生徒	72%	26%	2%	0%	98%	2%	92%	97%	生徒の主體的な取組となるよう、より一層内容の充実を図っていく。体育祭、合唱祭等、大勢の保護者様の参観・協力に感謝しております。
		保護者	43%	50%	7%	1%	93%	7%	88%	87%	
		教職員	63%	37%	0%	0%	100%	0%	100%	100%	
5	学校の施設・設備は、学習環境として整備されている。	生徒	53%	36%	8%	3%	89%	11%	92%	92%	水道水及び停電の影響による照明の不具合により、教室の変更等、生徒・保護者の方々に御不便・ご迷惑をかけております。今後も町教育委員会とより一層連携しながら、安全・安心な学習環境を整備していく。
		保護者	25%	40%	22%	12%	65%	35%	84%	86%	
		教職員	50%	40%	10%	0%	90%	10%	100%	100%	
6	先生は、授業で学習目標や課題をきちんと提示している。	生徒	69%	27%	4%	0%	96%	4%	94%	99%	「確かな学力」のより確実な習得のため、引き続き、全教科で授業改善を図っていく。教師と生徒が学習目標や課題を明確に共有し、「分かる授業」につなげていく。
		保護者					—	—	—	—	
		教職員	71%	29%	0%	0%	100%	0%	100%	94%	
7	先生は、授業で考える時間や発表する時間、振り返る時間をつくっている。	生徒	70%	27%	3%	0%	97%	3%	97%	97%	個別最適な学びと協働的な学びを実現させ、問いや課題提示等の工夫により思考力を向上させたい。また、振り返りに関してはICTを積極的に活用していく。
		保護者					—	—	—	—	
		教職員	65%	35%	0%	0%	100%	0%	100%	94%	
8	先生は、生徒が学習内容を確実に理解できるよう分かるように教えている。	生徒	59%	35%	7%	0%	93%	7%	92%	97%	生徒の発言・対話・活動を増やし、理解を深める授業づくりを進めることで、肯定率が微増した。引き続き、つまづきに応じた個別支援の強化や校内研修で授業改善の好事例等を活用し、授業の質を高めていく。
		保護者	20%	60%	16%	5%	79.8%	20%	73%	63%	
		教職員	76%	24%	0%	0%	100%	0%	100%	94%	
9	授業では、分かったと感ずることができる。	生徒	62%	36%	2%	0%	98%	2%	91%	93%	肯定率は増加しているものの、依然として生徒と保護者の肯定率には乖離がある。引き続き「わかる」から「できる」授業を実践し、目に見える成果が現れるよう授業改善に努める。
		保護者	17%	52%	27%	4%	69%	31%	66%	56%	
		教職員	65%	35%	0%	0%	100%	0%	100%	94%	
10	先生は、質問に対して丁寧に答えてくれる。	生徒	73%	23%	5%	0%	95%	5%	96%	95%	肯定率が同程度で推移している。今後、放課後学習や学習相談日など、授業外での質問機会を設けることで、より丁寧な対応が可能となり、理解の定着にもつながると考えられる。
		保護者					—	—	—	—	
		教職員	82%	18%	0%	0%	100%	0%	100%	94%	
11	学校は、安心して学習、生活できる雰囲気がある。	生徒	45%	49%	5%	2%	94%	6%	89%	92%	安全・安心はすべての教育活動の土台であるため、安全・安全に関する評価は100%を目指すべき領域である。これからも、わずかな不安や課題も見逃さず改善に努める。
		保護者	32%	60%	5%	3%	92%	8%	85%	82%	
		教職員	47%	53%	0%	0%	100%	0%	95%	100%	
12	学校に行くのが楽しい。	生徒	47%	34%	16%	3%	81%	19%	78%	82%	約2割の生徒が「楽しい」と感じられていないことを真摯に受け止め、友人関係の不安や孤立感、学習面でのつまづき、学校生活の中での不安等、その背景に向き合い、指導内容や方法を改善していく。
		保護者					—	—	—	—	
		教職員	42%	58%	0%	0%	100%	0%	95%	100%	
13	先生は、悩みや相談について親身に対応してくれる。	生徒	68%	26%	6%	1%	93%	7%	94%	96%	保護者の肯定率の微増は、励みとなる結果であるが、日常的に生徒と向き合う時間の確保が課題である。今後、生徒や保護者の声を丁寧に受け止める体制をさらに充実させ、誰もが安心して相談できる学校づくりを進めていく。
		保護者	34%	51%	10%	4%	85%	15%	75%	83%	
		教職員	68%	32%	0%	0%	100%	0%	95%	100%	
14	先生は、生徒の能力や努力を適切・公平に評価している。	生徒	68%	21%	8%	2%	89%	11%	96%	94%	指導と評価の一体化を意識し、評価基準の明確化を図り、生徒一人一人の能力や努力を適切かつ公平に評価する質をさらに高めていく。多様な学び方を尊重しつつ、評価の在り方について、継続した校内研修を実施する。
		保護者					—	—	—	—	
		教職員	95%	5%	0%	0%	100%	0%	100%	100%	
15	学校は、いじめや暴力のない学校づくりに努めている。	生徒	70%	24%	5%	1%	94%	6%	94%	95%	「いじめは絶対に許されない」という意識を育み、未然防止を重視するとともに、生徒が発する小さなサインを見逃すことのないよう日頃から丁寧な生徒理解と早期発見に努めていく。
		保護者	26%	59%	11%	4%	85%	15%	80%	88%	
		教職員	95%	5%	0%	0%	100%	0%	95%	100%	
16	先生は、生徒の間違った行動に対しきちんと指導している。	生徒	77%	20%	3%	0%	97%	3%	97%	96%	教職員による間違った行動への指導だけでなく、生徒自身がルールやマナーの意味を理解し、主体的に行動する力を育むため、学級会や委員会活動等において、自治活動をさらに活性化させる。
		保護者	32%	53%	8%	7%	85%	15%	80%	85%	
		教職員	68%	32%	0%	0%	100%	0%	95%	100%	
生徒	毎朝、食事をとって登校している。	生徒	86%	8%	5%	2%	93%	7%	90%	83%	全ての項目において肯定的評価9割を超えている。食育や健康・体力向上について、各御家庭に御協力をいただきながら、積極的に進めていく。
	毎日、歯磨きをしている。	生徒	89%	11%	1%	0%	99%	1%	98%	99%	
	毎日、何らかの運動をしている。	生徒	74%	17%	6%	4%	90%	10%	91%	83%	
保護者	学校は、子供たちの活動の様子を家庭によく伝えている。	保護者	25%	50%	21%	4%	75%	25%	73%	77%	昨年度に比べ、肯定率が微増したものの、日常の様子発信や情報の見える化が十分でなく、保護者にとって「よく伝わっている」と実感しにくかったことが評価に影響していると考えられる。今後は、発信の質と量を高め、家庭が学校生活をより身近に感じられるよう情報提供の充実にも努めていく。
	教職員は、子供たちの教育に熱心に取り組んでいる。	保護者	35%	48%	11%	6%	83%	17%	79%	83%	
	学校は、学習における子供の力や努力を適切に評価している。	保護者	38%	47%	8%	7%	85%	15%	78%	85%	
	教職員の言葉づかいや態度・マナーについて、満足している。	保護者	36%	50%	8%	5%	87%	13%	81%	77%	
	学校は、特別支援教育の充実にも努めている。	保護者	30%	62%	5%	2%	92%	8%	81%	84%	
教職員	保護者や地域の方へ誠実に対応している。	教職員	79%	21%	0%	0%	100%	0%	100%	100%	
	校内外の研修に意欲的に参加し、進んで自己研鑽に動んでいる。	教職員	42%	53%	5%	0%	95%	5%	100%	94%	
	学校は、生徒会活動を通して、生徒に自立や自治の力を育もうとしている。	教職員	95%	5%	0%	0%	100%	0%	95%	100%	
	勤務時間を意識して勤務できている。	教職員	42%	47%	11%	0%	89%	11%	90%	82%	
	特別支援教育の考え方や生徒への有効な支援方法を教職員で共有したり、研修したりする機会が設けられている。	教職員	58%	37%	5%	0%	95%	5%	95%	94%	